

やさしさをあすえずに

いとう ふうた

この本は、ノールベルが人るいにしとぼへ
りゆをあたるに一生をかへどうてきにがれた
本です。このお話をよんでいちはんむねをう
たれたところは、ノールベルのおにいさんがゆ
きの中にお金をなくしてしまつたのにおかあ
さんはおこらずにおもひろくなぐさめてくれ
たところですよ。まるでたいようのようにあた
たかい人だとおもはしました。

ぼくにもにた話があります。たいそうのし
あいで入いようてますにおちこんでいたとき
ゴーヤが

「まっ、楽しくてまたたかからいじやん。」
ときま、おはげましてくまましたのぼくは、ま
たつごうとぼるうというきもちになりました。
たいそうといえげ、内村セツシツにもま
たあしがあります。NHKはいで録レぼうから
ら、かしてしまつてせいごのインタビュユーで
「またれんいゆうをたくせんや、てがなばり